

◆TEKU・TEKU 2019★渋谷～代官山～中目黒をつなぐ（活動記録）◆

企画■祝・ヒルサイドテラス50周年／渋谷～代官山～中目黒をつなぐ（東横線跡と鎌倉街道）

日時■2019年12月8日（土）13:30～17:05

コース■渋谷ストリームライン（東横線レール+高架柱の記憶保存）～渋谷リバーストリート/渋谷川遊歩道（STREAMing VIBES+旧並木橋駅の記憶保存）～渋谷ブリッジA棟+B棟（鉄道駅のイメージ再現）～ログロード代官山（東横線跡遊歩道）～Kashiyama代官山～ラフェンテ代官山跡～代官山アドレス～テノハ代官山閉館跡～奈良県東京事務所 i スタジオ跡（APA）～旧山手通り横断歩道（歩道橋撤去）～代官山ヒルサイドテラス（A棟アートフロントギャラリー／栗山齊個展+C棟中庭+DE棟猿樂塚+FG棟ヒルサイドギャラリー／50周年記念展覧会）＜休憩＞～代官山蔦屋書店Tサイト～ヒルサイドテラスANNEX+地藏堂・道標～旧鎌倉街道富士見坂・目切坂～東京音楽大学新キャンパス（緑の鎌倉街道+学生と街のレストラン）～中目黒アートスクエア＜説明＞～目黒川・日の出橋～中目黒アトラスタワー+アリーナ（蛇崩川合流点）～中目黒駅高架下・蔦屋書店

オプション企画■トークセッション「代官山インスタレーションが遺したもの」（12月6日（金）19時～21時）

参加者■◎大竹 亮+青木理恵+加藤仁美+清水俊哉、青木伊知郎、磯 達雄、磯田尚子、井手幸人、伊藤貴敏、荻原勝己、栗原 徹、重永真理子*、高橋 謙、竹下香里、野中るみ子、原 久子、藤井正男、藤井幹也、古里 実*、横田宜明（以上20名、敬称略、◎コーディネーター、*オプションのみ参加）

企画主旨■渋谷の大型再開発の契機となった東横線地下化により、渋谷駅跡地に昨年完成した渋谷ストリームには、かつての駅や線路の記憶が再現されています。代官山までの東横線線路跡は遊歩道として整備され、沿道には架線柱や旧並木橋駅の想い出も隠されています。◆代官山では、街並み形成をリードしてきたヒルサイドテラスが50周年を迎え、記念展覧会(11/9-12/8)をはじめ各種イベントが開催されており、12/6(金)夜は代官山インスタレーション展を振り返るトークイベントです。一方、開発圧力が高まる中で高層建築が増えつつあるのが現実ですが、代官山ステキなまちづくり協議会（代スキ会）の活動によって、周辺の新しい建物も街並みに調和・寄与するような工夫を講じています。◆中目黒までの旧鎌倉街道に沿った東京音楽大学新キャンパスでは、みどりの鎌倉街道が整備されました。また、中目黒駅周辺では再開発や高架下利用が進み、街の姿が大きく変わりつつあります。

今回は、ヒルサイドテラス50周年記念展を中心に、渋谷駅（渋谷川）から東横線跡地を歩いて代官山（洪積台地）に上り、代官山の新旧プロジェクト群を巡り、さらに緑の鎌倉街道を歩いて中目黒（目黒川）に下ります。豊かな緑や都市河川、旧街道や廃線跡など地域の資源を活かしたまちづくりについて、一緒に実体験しましょう。

<参加者の意見・評価>

1◆渋谷から代官山までの東横線跡地利用（全体） 評価:3.53 内訳:AAAAABBBBBBBBBBC

（渋谷ストリーム～渋谷川遊歩道～渋谷ブリッジA棟+B棟～山手線歩道橋～駐車場～ログロード代官山）

評価A●私鉄の地下化により生まれた空間。かつて高架下は倉庫に使われ、殺風景な空間だった。渋谷川の流れ、代官山の街に溶け込んだストリート空間を創造した。

評価A●渋谷ストリーム2階の線路イメージに始まり、渋谷川沿いの高架柱番号、旧並木橋駅の記憶保存、渋谷ブリッジA棟の鉄道駅イメージ、ログロード代官山の線路跡散策路など、鉄道をテーマにして空間を楽しくつないでいるのがユニークな試み。渋谷ブリッジB棟と東急の駐車場は残念だが。

評価A●ログロード代官山が低層かつ木質で小さなサイズで温かい感じがして散歩道としてとても良かった。途中色々な施設が残念ながら今はとぎれてしまっているが、何らかの形でつながっていくと良い。番号を入れるなどかつての鉄道をテーマとしたデザインがあるのが楽しかった。活用され今風の鉄道遺産になっていた。

評価A●幼少時より慣れ親しんだ渋谷界隈の変貌を線路を辿って実際に歩くことで体感し、新しい街並みの中にも懐かしい街並みが混在し、風景が点在している、そんな渋谷の新たな魅力に気づかされました。

評価A●以前どんな空間だったのかの思いを巡らせながら歩ける空間。

評価B●渋谷～代官山の徒歩ルートが、楽しい道になって嬉しい。

評価B●渋谷・代官山らしくオシャレに出来ている。

評価B●ログロードはテナント入れ替えの時期だったのか少し閑散としている場所があった。一方で両端に位置するカフェなどは繁盛しており、集客ポテンシャルは有りそう。

評価B●線路の跡地と河川の上空をうまく活用して12万㎡もの床面積を生み出した渋谷ストリームの開発手法が一番のポイントと思いました。駅と各建物がスムーズにつながると、さらに賑わいが生まれる気がします。一方、渋谷川沿い遊歩道以南は、いくつかの工夫は感じられますが、歩きたくなる空間かという、必ずしもそうではないように思います。

評価B●渋谷界隈は賑わいがありますが、全体としてはいくつか弱点があると思います。①並木橋の交差が渡りづらい。②代官山方面へつながる、というコンセプトの割には、分断された感じがぬぐえず、強い意志を持っていないと途中で引き返してしまいそう（だんだんうら寂しくなり、JRで分断。ログロードが渋谷へ向け

ての「手をつなぐ感」がない、など)。③渋谷川沿いの建物が全部裏側で、お尻を向けられた感じ。将来的には、川沿いにそびえるビルも意匠を変えたりして、川側が表となっていくのでしょうか。

評価B●鉄道の軌道敷を活用して繋いでいこうという試みは理解できるが、空間としての快適さに工夫が必要と感じた。

評価B●跡地に建築を設けながらも、そこに線状に公共スペースをつなげていった点を高く評価したい。それだけに、途中でそれが途切れるところ（渋谷ブリッジB棟、歩道橋・駐車場など）が残念。

評価B●歩く視線で見ると、渋谷エリアではストリームから遊歩道、旧並木橋、渋谷ブリッジ辺りまでは魅力を感じさせられた。しかし、歩道橋辺りから代官山への入口～ログロードに至っては連続性がなく、残念。

評価B●鉄道跡にも関わらず途中が分断されているため、渋谷から代官山までの快適なルートにはなっておらず、ログロードの店舗は厳しそう。

評価C●川岸の遊歩道に、元は鉄道だったことを彷彿させる線路や柱やホーム等の模型や実物があり、和んだ。



渋谷ブリッジA棟／地下鉄駅をイメージした回廊



ログロード代官山／旧線路敷を活用した散策路

2 ■あなただったら、渋谷から代官山までの東横線跡地をどのように利用・活用しますか？

（現在の利用・活用方法を一部改良する提案も含めて）

●渋谷から代官山まで通して快適に歩ける緑道を整備し、その中に小さなショップやギャラリー、アートなどが点在する、歩いて楽しいスペースにしたい。

●基本は散歩的な歩道と緑化を中心にしつつ、店舗等を要所に配置するのが良いと思います。

●志のある小さな店が出店しやすい、たくさんの面白い発見のある雑多な商店街だったらいいなあ。

●つながりを大切にしつつ、変化や刺激（川や緑）のある道。商店街（イタリア・ポンテヴェッキオ）。長屋風の店舗住居（人が住んで暮らしぶりが重要）。

●細長く続く土地の特徴を活かして連続性のある店舗群を誘致し、ギャラリーなどにも活用したい。傾斜地でスロープ状だったが、あえて階段を設け（階段街化）テーマパーク的な面白さを出す、など。バリアフリーには辛い。

●若者は渋谷から代官山、さらに中目黒まで歩いている。そのルートをたどってみれば、穴場も含めて様々なルートが提案できるのでは？

●渋谷から代官山まで快適に歩けることが基本であるが、山手線の前後で分断されている。渋谷ブリッジとログロード代官山を結ぶために、東急コミュニティの駐車場を屋台村などに活用できないか。

●渋谷ブリッジとログロード代官山を寸断する山手線の歩道橋の架替計画がある。渋谷区・JR・東急電鉄等の調整が難しいと想定されるが、景観的に橋梁デザインの優れた架橋に期待している。

●もう一回、簡易なものでいいので、なんらかの交通システムを復活させるのはありえないかしら。

●代官山～渋谷間のお散歩ルートの矢印看板があるとよい。

●現在の形でいいと思うが、もっと目立つ、キーとなる店舗を誘致したらかうか。

●大学生の娘のアイデアなのですが、①スタバを入れる ②建物（箱）を45度ふって、各店舗の入口を「隅切り」型にして、お客の気配をログロードの出入り口からもわかるようにする。

●歩道空間をもう少し広くできるといいですね。

●人工物で固めすぎている感じがします。緑を増やしてほしい。

3 ◆代官山ヒルサイドテラスA～G棟

評価:4.87 内訳:AAAAAAAAAAAAAAB

（A棟ギャラリー、B棟開口部、C棟中庭、DE棟猿楽塚・通り抜け、FG棟広場・50周年記念展会場など）

評価A●時間をかけて街並みをつくり、全体としての秩序を保ちつつも、各々の棟のデザインは時代によって徐々に変化している。ヒューマンスケールで奥行きある街並みは本当に素晴らしい。

評価A●各棟それぞれに異なるヒューマンスケールで居心地の良い空間が連なり、そこを通り抜ける体験は至上の時間となる。もう50年ということに驚くし、記念展では改めてその素晴らしさを認識した。

評価A●50年前の斬新と格好よさが古びていないどころか、年月を経て、規模感のよさ、動線の豊かさ、視界に入る樹木の美しさなど、上品で親しみを感じる場所になっている。

評価A●50年を経ても魅力的な空間であり続けるのが素晴らしい点です。同時期に建設された他の集合住宅や商業施設の多くが老朽化に直面している中で、時を経ても魅力を保つには何が重要なのかと考えさせられます。

評価A●建設時期によって建物自体は少しずつ変化があることを今回の企画で認識した。周りの緑と調和しとても素晴らしい建物。建築家の榎文彦さんと同じで、いつ見ても本当に素敵です。

評価A●先に建設された棟のデメリット（解決すべき事項）を次の棟で解決していく、成長していくところがいつ見ても面白いと思っています。

評価A●古いモノが良いという流れとは別格。ヒルサイドテラスは開発スタートから50年経過しているにも関わらず、現在においても十分モダンでかつ高級感あり。都市の高層化が始まった同時期にこれを提案できた榎文彦の力量を改めて実感。その後の代官山の街の開発においてベンチマークとされた功績は大きいと思う。

評価A●時間が経っても色褪せないデザイン力と、まちの交流空間としての機能的な素晴らしさ。

評価A●低層で容積率が低く緑のあるまちとして、建物がまちをつくり寄与し続けていることが素晴らしい。日本のお手本。

評価A●見識を持ったオーナーと秀れた建築家の組み合わせによる稀有な成功例。他で真似しようとしても、なかなかできないだろう。あえていえばそこが難点。

評価A●50年という歴史的な文脈の中で代官山の地域づくりのモデルとして生き続けていることが何よりの価値。朝倉さんに住居の地下のギャラリーをご案内いただいた際、「こんな空間はつくるつもりなかった。建築家は容積率をすべて使うことが目的になってしまっている」と仰っていたことが強く印象に残っている。

評価A●南面の庭園の緑を空間的に取り入れ広々とした空間を作っている。建物が周囲と一体となって心地よい。

評価A●F棟広場の前に、D棟とデンマーク大使館の間の駐車スペースへと貫く形で、横断歩道をつけるといいかもしれない。便利になると、ヒルサイドテラスの敷地の一番幅の広い空間を歩いて渡れたら、奥行き感をわかりやすくなるのでは、と想像してしまいます。

評価A●いつ来ても、連続する空間を歩くと新鮮に感じられる。

評価B●久しぶりに見たが、やはりセンスがあると感じた。



代官山ヒルサイドテラス／建物に囲まれたFG棟広場



カシヤマ代官山／建物内部のカフェと通り抜け空間

4 ■代官山のまちの最近の開発と動きについて、あなたはどのように思いますか？

（カシヤマ代官山、ラフェンテ跡地開発、テノハ閉館、奈良県寮跡地APAマンション、歩道橋撤去、鳶屋T-サイトなど）

●「代官山」を構成する建築物が部分的に新しく変わっていくのは時代の流れで仕方なしと思うが、それによっても「代官山」全体のスタイル、雰囲気は守られているように思います。「代官山ステキなまちづくり協議会」メンバーが幾つかの計画に関与している活動などが功を奏しているからでしょうか。

●まちづくり協議会との事前協議が功を奏している点が、随所に見られた。とりわけ、起伏のある土地柄、街の構造として通り抜けが多いことを、新規の開発にも生かし、街の個性と魅力を維持していることを素晴らしいと思う。

●まちの変化は必然だと思いますが、プラスとマイナスのものがああり、その中で、公・民・まちづくり団体のそれぞれの役割と連携の重要性をあらためて感じました。

●「大人のまち、代官山」を維持するための代スキ会のご尽力に感謝し、心より応援いたします。

●街並みを楽しむ通行人と開発するデベロッパー等の思惑が一致することもあるが、一致しないことも多くあり、妥協点を見出した結果が現在の状態に表出されているのだと思うのですが。計画論的な表現ができないのですが、おもちゃ箱をひっくり返したような面白さのある街でした。

●代官山のまちの特性を読み解いたものと、そうでないものが混在している。地区計画や銀座等で採用されている許可手続きにおける事前確認の義務付けなどの規制をまちの合意のもとに実践する仕組みが必要ではないかと思う。とはいえ、土地の値段に反映される話なので、利害がぶつかる可能性もあるが。

●カシヤマ代官山やT-サイトでは例外的に良好な空間が形成されたが、一般論として不動産事業は土地価格に見合うだけの容積確保(＝高層化)が求められる。代官山の良好な環境を守るためには、高さ制限や地区計画など都市計画による制限を強化すべきだと思う。

●建物のボリュームが大きくなる傾向があって、そうなるといくらデザインで頑張っても代官山ならではの良さを保ちにくくなるなあ、とは思います。

●八幡通りの高層化は残念。

●自分が育った小中学校の学区で、引っ越してから40年以上経ち、よく遊んだ野原や坂道の変容に驚いている。

●代スキ会の功績か、まちや地域を意識し、ともにまちをよくしようという思いが感じられ良いことだと思う。どんどん共鳴し合ってよいまちになってほしい。

●代官山ルールは大変興味深いものだった。住民の方により、景観等、街を守る努力が続けられている感心した。

●代官山ルールによる協議(私の感想として)では、T-サイト・歩道橋撤去は成功例、ラフェンテと奈良県寮は残念な例、カシヤマは不明(評価しにくい)、テノハは重要案件(代官山の価値を左右する)と思っている。

●歩道橋撤去は、慣れ親しんだ風景が変わること、旧山手通りを一望する場所がなくなること、など複雑な思いだったけれど、撤去後はとても便利になりました。テノハは、あのスクエアができて以来何度も用途が変わる中で、とりわけ成功し多くの人に親しまれ定着していたことを踏まえた上で開発するのですから、マンションと足元の一体開発がさらに心地よい空間に生まれ変わることを期待しています。

●代スキ会と開発事業者では、議論がかみ合うはずがないように思えるのに、粘り強く交渉して奇跡的に成果を上げている。T-サイトやカシヤマ代官山のように自社の営業に使う場合はまだいいが、外部資本によるマンションや貸しビルでは最大限の高度利用が必至。その中でAPAの足元のギャラリーやベンチ、ラフェンテ跡地の通り抜けなどを勝ち取ったのは貴重な手柄と思うが、それが現在の方式の限界でもあろう。

5◆東京音楽大学・中目黒代官山キャンパス

評価:4.29 内訳:AAAAAAAAABBBBB

(事業コンペによる土地売却、高さを抑えた計画、通り抜け通路、学生と街の食堂&カフェ、緑の鎌倉街道など)

評価A●高さを抑え、建物の中央を大胆な通り抜け通路にするという空間構成は、周辺地域との関係をよく考えていて素晴らしいが、当日通行できなかったのは残念。

評価A●高さを抑え、シンボリックな動線の確保、落ち着いた設計などコンペによる効果が発揮されている。経済性と裏腹な関係があり、公有地だから実現できた感が否めないのが唯一の課題か。

評価A●地域の既存の価値を享受しながらもその価値を破壊する開発よりも、地域に価値を生む開発を重視している。植栽豊かな石段は歩きやすかった。音楽大学ゆえの文化的貢献を望む。

評価A●高さを抑えて通り抜けや遊歩道を設け、食堂とカフェを地域に開放し、定期的にコンサートを開催するなど、地域に大きく貢献する計画である。事業コンペで土地価格だけでなく計画内容で選定した行政も偉い。

評価A●行政がコンペで金額ではなく、街の価値を高める文化施設を誘致したことはとても評価できる。

評価A●通り抜けの道が良い。価格にこだわらず文化という長い目で音楽大学を選んだ目黒区に敬意を表します。

評価A●急な坂道で車の迂回路に使われ危険だった道が、歩きやすく自然を感じる安全な散歩道になっている。

評価A●代官山ヒルサイドテラスの思想を継承している(と思われる)設計は素晴らしい。

評価A●事業者も決まっていなかった段階では、旧朝倉邸の和室からの眺望を確保できる高さで、ということが第一条件であった。高さを抑え、通り抜け通路を設けたこと等、計画的には良くできているのではないかな。

評価B●あの土地に学校を誘致できたのが良かった。住宅や商業施設だったら、もう少し周辺が騒がしい雰囲気になっていたと思う。

評価B●高さを抑えた計画、通り抜け通路もそこを利用する側にも配慮されていて、全体的な資産価値を上げていると思います。事業主のその土地への思い入れみたいなものが左右するところが大きいのではないかな。

評価B●鎌倉街道沿いの景観整備は良い。しかし、せっかくの敷地内通り抜けがこの日はできなかった。

評価B●住民に開かれた大学として良いのではないかな。

評価B●景観と中目黒～代官山間のアクセスの点は大変よいと思います。カフェは他所では人気の大手チェーンの期待を裏切り、大学施設内だからなのか鈍いオペレーションが感じられ、あまり居心地よくなかったです。

6◆中目黒アートスクエア(なかめエンノシターズ)

評価:4.07 内訳:AAAAAAAAABBBBBBC

(落書き防止、1/365のアート制作、なかめスタイル、公共機関協力、電車から見える風景など)

評価A●落書きされる道路の擁壁をアート化するという発想はなかなかユニーク。これで落書きがなくなったのであれば、都市景観上とても効果的。

評価A●「なかめスタイル」としてツールをつくり、若者にも地域が考えていることをわかりやすく周知し、呼びかけていること(行動)が素晴らしく大変参考になった。◎

評価A●ふだん見過ごしてしまいがちなことにきちんと対応されていることに気づきました。なかめエンノシターズがさらに周知されて、他の地域での落書き防止促進にもつながることを期待したいと思います。

評価A●落書きを防止する方法として、こうした取り組みがあるんだ。素晴らしい！！

評価A●実現に至った経緯と、公民の協議・連携の状況がとても興味深く、面白いと思いました。

評価A●行政が地域と協同で取り組んだ好例。

評価A●地域の課題を上手く地元のリソースを活用しながら改善できた良い事例と思います。

評価A●プロの「グラフィティ」を描いたことは、電車から見てただのアート以上に映え、とても良いアイデアだと思いました。落書き消しは犯人との追いかっけっこだと思いますが、二度の対処に犯人があきらめたことは粘り勝ちですね。

評価A●落書き防止をきっかけに、都市の殺風景な空間をなくして（濃く意味づけて）いく活動というのが、この本質であろう。縦割り行政と予算不足の中で、よく頑張った目黒区の担当課こそ、縁の下力持ち。

評価B●街をより良くしようという地域主体のまちづくりが積極的なされている。

評価B●落書き防止・非行対策は自治会の責任とも思われる中、資金拠出に協力する企業へ近隣住民等から恩恵があれば願う。

評価B●代官山でも陸橋下の落書きを何とかしようと、小学校の児童と絵を描くことにより落書き防止をしたことがある。地域で起きたことは地域が解決することが大事、ということはこの事例でも感じ取った。

評価B●このアートに気付いていませんでした。次回通るときに電車から見ようと思います。数十万円程度の予算とおっしゃっていましたが企業の協賛が必要だったとか。ルーティン外の事業をまとめるのは大変な事です。

評価B●いっそ落書きをする人達を取り込んで、アートとして描いてもらう企画があってもよいのでは。

評価C●問題解決への努力は高く評価したい。ただ解決に至っているかというところとわからない。



東京音楽大学新キャンパス／低層建物と開放通路



中目黒アートスクエア／無敵！なかめエンノシターズ

7■当日歩いた中で特に印象的だった場所・出来事

東横線跡地から見た渋谷駅前の高層ビル群★渋谷とは思えず、時の流れを感じました。

渋谷ストリーム★川に向かって開いた賑わいを先導する施設として期待。

渋谷ストリーム★高架下の倉庫街が洗練された公共空間に生まれ変わった。

渋谷ストリームの2階通路★線路のイメージ復元と店舗が並ぶ路地状の空間が絶妙に調和（混沌）していた。

東横線の跡地利用★都市の中を線的に貫く空間活用の先駆け。まだ工夫の余地があるが。

渋谷川沿い遊歩道★渋谷川とアートをちりばめた遊歩道とペンシルビルの裏側との対比が面白い。

渋谷川沿い遊歩道★古い街並みと新たな遊歩道空間がマッチしていた。

渋谷川沿い遊歩道★都会の中の安らぎと新しさ。

渋谷川沿い遊歩道★土地区画整理事業の柔軟な使い方に脱帽。

音を奏でるベンチ（渋谷川沿い遊歩道）★

渋谷川に架かる並木橋★橋の上から眺める景色は大抵、趣きあるものです。

渋谷ブリッジA棟★軒下を道として機能させるというあまりなかった試み。

渋谷ブリッジA棟★ゆるやかにカーブし、レトロな地下鉄駅のような不思議な懐かしさを感じる空間だった。

歩道橋周辺★いろいろなものが集合している面白さ。

J Rの線路を渡る歩道橋★欧米だったら東横線の橋梁を残し、改修補強して遊歩道に活用しただろうに、、、

J Rの線路を渡る歩道橋★この場所とこの橋をこれからどうしていくのか、とても気になりました。渋谷と代官山をつなげるというコンセプトも、ここの在り方が問われる気がします。

東急コミュニティの駐車場★せっかく渋谷ブリッジとログロード代官山が両側から手を伸ばしているのに、、、

ログロード代官山★木質の商業施設が並んだ空間を歩くのが楽しい。

ログロード代官山★地形の傾斜もあり、線路跡地のこんな利用があったのかと印象的だった

ログロード代官山★裏道のようなアクセスは、ほかになかなかない魅力。

ログロード代官山★線路跡地の面白い利用法だが、両端以外のショップが閉店しており、作戦練り直しが必要か。

ログロード代官山★渋谷駅または代官山駅からのアクセスがもう少し判りやすいと、今よりも人が流入する様に思う。現在の建物は仮設？少し安っぽい印象がマイナス点。

ガーデンハウスクラフト★ログロードの渋谷寄のカフェ。ログロードのショップ／カフェで、ここ何年かSVR以外でこんなに流行っているのを見たのは初めてで衝撃でした。どういう人が来ているのか知りたいです。

カシヤマ代官山★徐々に角度を変えながらセットバックするファサード・デザインがとても良い。

カシヤマ代官山★（佐藤オオキ+nendo設計）店舗内を通り抜けたり、屋上を登って降りたりで楽しい。

カシヤマ代官山★建物ボリュームを抑え、敷地内や建物内を通り抜けできるのはいいが、何か違うように感じる。

テノハ代官山跡★低層の建物が緑の中庭を混む落ち着いた空間だった。ついに三度目の正直で開発か。

テノハ代官山跡★今後どうなるか、重要案件として。

テノハ代官山跡★代官山らしさを体現した計画なので、閉鎖は残念。奈良県寮跡地のマンションのようになってしまふのだろうか。

旧奈良県宿舍（APAマンション）★公共空間提供や建物デザインで、ささやかに街に貢献しているのが救い。

旧奈良県宿舍（APAマンション）★かつては緑の多い屋敷町の名残りであったが、公共空間をとっているものの、手狭さ、圧迫感を感じる。



テノハ代官山／ついに閉鎖され、今後どうなるか



旧奈良県宿舍／かろうじて開放通路が設けられた

ヒルサイドテラス★何度訪れても計画力の高さに驚かされる。

ヒルサイドテラス★いつ見ても飽きない。

ヒルサイドテラス★いつ来ても新しさを感じる。

ヒルサイドテラス★持続性のある建築。

ヒルサイドテラスA～G棟★歩いていて立ち寄りたい。

ヒルサイドテラスA～G棟★各棟の空間自体も素晴らしく高水準だが、それぞれが違うコンセプトなのも驚き。

ヒルサイドテラスA+B棟★入居店舗、施設のテナントに趣味の良さを感じる。その雰囲気か継続される事を期待。

ヒルサイドテラスの店舗の窓★建物の背景に広がる紅葉が額縁の絵画のように美しかった。

朝倉邸の紅葉★ヒルサイドテラスの窓の向こうに空間がある。

ヒルサイドギャラリー★都市とアートとの関係を再認識。

ヒルサイドギャラリー★悪目立ちしないのに注目度が高い。

ヒルサイドテラス50周年展★充実した展示。もう少し時間があれば良かった。

ヒルサイドテラス50周年展「アーバンヴィレッジ代官山のすべて」★ヒルサイドテラスの建築の変遷、代官山のジオラマなど、代官山の街がよくわかる。

代官山蔦屋書店T-サイト★人が多い。それだけ魅力ある場所ということでしょう。

代官山蔦屋書店T-サイト★こじんまりとした空間が集合しているところが面白い。

代官山交番前の横断歩道★とくかく便利で、街を歩きやすくなりました。中目黒駅、代官山駅のどちらから東横線に乗るかが選びやすくなった気がします。

代官山交番前の歩道橋撤去★景観を享受する権利の他、地上を歩く権利も。

代官山交番前の歩道橋撤去★まちの広がり。

鎌倉街道の地蔵堂★ヒルサイドテラスANNEXと一体的に整備されたモダンな地蔵堂。大山道の道標も健在。

みどりの鎌倉街道★東京音大キャンパスの通り抜け階段とあわせ、代官山から中目黒が階段に歩きやすくなった。

代官山から中目黒までの街の様子★東京音大含め落ち着いた街並みが続いていて、沿道には隠れ家的レストランなどもあって、ゆっくり歩きたくなる雰囲気が残されている。

東京音楽大学新キャンパス★心地よい空間が実現していた。

東京音楽大学新キャンパス★ラフェンテナき今、ヒルサイドテラスの精神と計画を本質的に継承する稀有な事例。

東京音楽大学新キャンパス★通り抜けが機能すれば、代官山と中目黒が繋がって面白くなりそう。

東京音楽大学新キャンパス★日曜日の夕方だったため学生が不在でした。実際に大学として使われている様子を見たいと思いました。

中目黒アートスクエア★アートで楽しい空間になっている。今後は公募されても面白いと思う。

中目黒アートスクエアの落書き防止★地道な努力が成功した。

中目黒アートスクエア／なかめエンノシターズ★空間の特性をよく考えた解決法が素晴らしい。

中目黒アートスクエア／なかめエンノシターズ★街の風景をアートで少しずつ変えていく発想には賛同します。都市のニッチな空間を使い人の意識や行動を変えることのこれからを楽しみにしています。

中目黒地区★（当日もう少し時間があれば・・・）

中目黒駅高架下★高架下を巧みにデザインし、新しいイメージの商業空間ができています。

中目黒駅高架下の蔦屋書店★ガード下が賑わい空間を演出。駅前に本屋があるのは羨ましい。

中目黒駅高架下の蔦屋書店★コーヒーも飲める数店の低い書店。

目黒川・日の出橋際の大樽★外観も人目を引くが、内部に入れば酔いつぶれるまで出てこれないような店だ。

8◆トークセッション「代官山インスタレーションが遺したもの」（12/6 夜開催 於：ヒルサイドバンケット）

●街にとってアートがコミュニケーション・ツールとして機能し、一方アートは街の場の力によって新たな魅力を発揮する。そして、そこでの人のつながりが街をさらに魅力的にすることがよくわかり、非常に興味深い内容だった。

●アートが街にあることの意味を理解する良い機会になりました。代官山リビングは、常設の公共施設、公園施設としても十分活用できるように感じました。

●空間を一時的にでも改変することが現実のまちづくりにつながっていく気配を感じた。これに関わった人のその後の展開が何より興味深かった。

●受賞者の方々の発想の自由さとパワーが、その後の活躍に繋がっていることに目を見張るばかりでした。アートとまちづくりの関係が今までいまいち理解できなかったのですが、受賞者の方々のアートが都市のコミュニケーションをつくる、プロセスがコミュニケーション等々の発言、代スキ会からのインスタレーションが行政の壁を壊し、地域のコミュニケーションにつながることなどの発言に納得しました。

●アートプロジェクトなどの地域に開かれた企画を継続的に実践してきた企画側の努力がすばらしいと思います。ヒルサイドテラスが代官山の街のイメージを決定づけたことを考えると、1つのプロジェクトがいかに大切なかを再認識させられるシンポジウムでした。

●短い時間でしたがとても充実したシンポジウムでした。槇文彦さんのお話を聞くことができて本当に良かった。

●代官山インスタレーションを実際に訪れた過去4回を思い出しながら話を聞きました。街の空間の特性を深く読み込んで巧みに設置されたアート群が、それを見る各人に何らかの行動の選択を迫るよう働きかけるものが多く、いわば常識や思い込みを打破し、自らの明日を切り開く精神を与えてくれる貴重な機会でした。

●代官山の場所の魅力発見に貢献された「代官山インスタレーション」、続けてもらいたい。



50周年記念展アーバンヴィレッジ代官山のすべて



代官山インスタレーションが遺したもの／槇文彦氏

9■今回の企画に対する感想など

●Oさん、Aさん、Sさん、Kさんという、4人の豪華なコーディネイターによるとても充実したまち歩きでした。また代官山ヒルサイド50周年の展示会やトークイベントもあり、改めて代官山の街の魅力を味わうことができたと思います。（K/T）

●東横線跡地から代官山につながる視点での企画が良かった。高層ビルといった縦方向の再開発が多い一方、横というか線として隣の街とのつながりを意識できる企画でした。ヒルサイドをはじめ高さを抑えた低層ヒューマンなまちづくりも広がりつつあることは喜ばしいことと思う。「なかめスタイル」の「みつける かんがえる こうどうする」は自分が住むまちのお手本にしたいところ。目黒区は素晴らしい。（H/H）

●久しぶりに参加しましたが、今回もまた新しい発見があり、面白い企画でした。あらためてTEKU-TEKUのホームページを見ると、これだけの歴史と評価の積み重ねがあり、その間の街の変化にも気づかされます。学術的な調査を目的とした活動ではないことは理解しておりますが、これだけの蓄積があるので、この結果を分析した論文など、研究につながるものがあるのもいいような気がします。(A/I)

●久しぶりにこの界隈を歩きましたが、だいぶ雰囲気が変わっていました。まちの雰囲気をどう継承していくべきなのか考えさせられた一方で、変わらぬ価値観を提起しつづけるヒルサイドテラスの存在が対象的でした。代官山の現状を解説してくださった代スキ会のK先生、シンポジウムの登壇者のAさん、中目黒をご案内いただいたSさん、充実した1日でした。ご案内ありがとうございました。(F/Ma)

●私の地元からやや遠いので、あまり縁がある地域ではなかったのですが、今回の企画は大変勉強になりました。また訪れたいくなりました。(T/Kn)

●小中学校の校区だったので、懐かしさとこんなに変わったのかと驚きました。次回も楽しみにしています。(Y/Y)

●ふだん電車や車で通っている場所ですが、実際に足で歩き歩行目線で見ると、いつもと違ったことにも気づきました。説明いただいたコーディネイターの方々、ありがとうございました。(F/Mi)

●まちにかかわった方々の思いを直に聞ける貴重な会でした。ありがとうございました。(N/R)

●代官山を歩くと代官山ヒルサイドテラスで創出された空間の質が地域に広がっていることがよくわかりますが、今後、この質の高い都市空間が維持継承できるかは、八幡通りの開発にかかっているのでは。(I/Y)

●渋谷の変貌ぶりを見たいと思っていましたので、参加させていただき本当に良かったと思っています。(T/Ka)

●二次会会場も魅力的で、参加したかったです。今回は用事でかなわず残念でした。(I/T)

●代官山では、開発に際し、地域のまちづくり団体（代官山ステキなまちづくり協議会）との協議を行うことが区条例で義務づけられているだけあって、通り抜けの確保等、代官山固有の基本的な街の構造を維持し、街の魅力を高めることに成功している例が数多く見られた。地域愛と人材の豊富は、素敵だった。(I/S)

●ヒルサイドテラスで学ぶ建築設計製図（勝又英明、学芸出版社）という本を数年前に買って放置していたのを引っ張り出しました。楨文彦先生のとらえているヒューマンスケールが実感できるような気がします。(S/M)

コーディネイターより◆

●渋谷から代官山をへて中目黒まで、東横線跡地と旧鎌倉街道を歩くという鉄分と街道趣味に依存したヲタク企画でしたが、多数の方に参加いただき、ありがとうございます。また、Aさん、Kさん、Sさんには、コーディネイターを分担下さり感謝します。祝！ヒルサイドテラス50周年。建物は永く存在するがゆえに、開発時の事情だけで作っては（作らせては）いけない、と改めて理解し実感できました。(O/R)

●新しく変わった街並みにも地域の歴史が刻まれ、感じることでできる可能性を感じた企画でした。代官山・中目黒では、地域の視点で更新していく建物の計画や街並みにアクションをかけてきたからこそ（失敗も多いですが）、街の文脈を体感し、愛着の沸く時間ともなりました。地域の変化を長い目でみていくことの大切さに、改めて気づかされました。(K/H)

●今回のエリアは、毎年少しずつですが、しばらくするとものすごく変化している界隈です。大規模開発だけでなく、実際に歩いて初めて気づく街の細やかな更新が随所に見られ、みんなで確認を重ねていくことの意義を感じるツアーでした。今回の記憶を踏まえて、巡りきれなかった箇所を拾いながらぜひまた同じルート（プラスアルファ）を歩いて変化を見届けていければと思います。また、ヒルサイドテラスのように変わらないものとの共存についても、その意味を考える機会があればいいなと思います。個人的には、中目黒のエンノシターズのプロのグラフィティの試みが印象に残っています。確実にあの場所がポジで明るくなりました。小さな試みが大きな変化へつながるような可能性を感じます。このように身近なところから都市の課題や潜在力を発掘していく試みは、関わる市民として自信と誇りを感じることができてとても嬉しく思います。(A/R)

●今や大変な人気の街になっている中目黒も、15年位前までは、特に誰も関心を示すことのない街として扱われていました。その中目黒は、代官山から流れてくる空気を受けつつ、六本木や恵比寿に近接している地の利から、代官山とは異なった感覚を持つ人々が集い始め、今のようになっていたと思います。今回訪れた東京音楽大学の敷地は、目黒区と東京都が国鉄清算事業団から購入した土地で、紆余曲折を経て大学開校まで大変長い年月を要しました。敷地利用に様々な条件を付けたプロポーザルで実現し、多くの区民から歓迎されていますので、まずは良かったなと思っています。エンノシターズについては、区はそれ相応に様々な方面の調整はしましたが、とにかくこの企画を発案した区内のNPOの素晴らしい行動力に尽きるとしています。(S/T)



東京音楽大学／みどりの鎌倉街道(右上:学生と街の食堂)